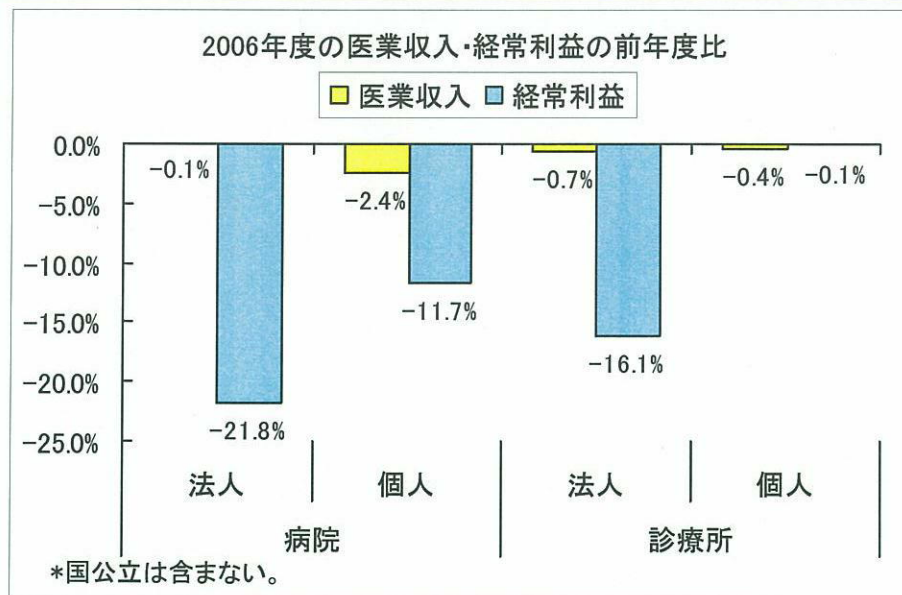


2006年度は、病院・診療所ともに減収・減益であった。

日本医師会は、医業経営の推移を的確に把握するため、信頼性の高い「TKC医業経営指標」*を用いて分析

TKC全国会「TKC医業経営指標」



- 一定点観測のデータ(経年変化の把握に適する)
- 客体数が多い: 診療所5,417、病院700
- 税務申告の元となる「決算データ」⇒実態を表す

中医協「医療経済実態調査」の問題点

- 一非定点のデータ
 - 一客体数が少ない
診療所1,024、病院516
 - 一6月のアンケート調査
6月に発生しない費用は推測して回答するしかないため、費用が小さく出やすい。逆に利益が大きく出やすい。
- ↓
- 収益が良いように見えがち。



医業経営基盤が揺るげば、最低限の医療提供体制も維持できない。ましてや質の向上は不可能。

*TKC医業経営指標は、TKC全国会(会員数約9,500名の税理士、公認会計士のネットワーク)による編纂。第三者による信頼性の高いデータとして日本医師会が提供を受け、分析している。